



北九州 歴史と夢は 港から



平成 24 年 12 月 19 日

## うみたびモニターツアーの実施について

北九州市には長い海岸線があり、関門海峡の壮大な景観やスケールの大きな港湾施設など、海や港に関する地域資源がたくさんあります。

港湾空港局では、海や港に関する地域資源を繋いだ魅力的なコースの提案や施設の紹介を行うことで、市民はもとより観光客などにも海や港を楽しんでもらうことを目指し、これを「うみたび」と名づけ、事業化に取り組んでいます。

この事業をより良いものとするため、今年度は4回のモニターツアーを実施しました。

	日 時	参加対象	交通手段	テーマ	申込数	参加数
第1回	10月27日(土) 8:30~13:00	小学生 (保護者同伴)	バ ス	ベイエリアツアー “ぼくらの生活を支える物流とは”	30人	21人
第2回	10月31日(水) 13:00~16:00	一 般	徒 歩	戸畑・若松まち歩き “港にある過去・港にある未来”	21人	18人
第3回※	11月21日(水) 10:00~13:00	一 般	船 舶	船で航く“海のちからと海の道”	67人	22人
第4回	11月16日(金) 9:00~16:00	一 般	バ ス	若松の二つの顔を巡るバスツアー “次世代エネルギーと自然海岸”	54人	29人

※第3回は、当初開催日が荒天であったため、延期して実施しました。

※徒歩は20名、バス・船舶は30名を定員として募集・実施しました。

## 第1回 ベイエリアツアー “ぼくらの生活を支える物流とは”

私たちの日常生活を支えている食べ物や日用品など多くの必需品は、日本各地や海外から船舶によって運ばれてきます。西日本有数の規模を誇る太刀浦コンテナターミナルや自動車を運搬する RORO 船、海路と陸路による搬入から搬出までの機能を備えた旧福岡食糧事務所門司政府倉庫などを見学しました。また、旧食糧倉庫は映画やドラマのロケ地としても活用されていることから、主な作品についても紹介しました。

実施日:10月27日(土曜日)8時30分~13時00分

対 象:小学生(保護者同伴)

参加者:21人

### ■太刀浦コンテナターミナル

あいにくの雨で、展望室の外には出られませんでした。間近で荷役の様子を見ることができました。コンテナ荷役の手順や荷役機械の名前などの説明を、子どもたちはとても熱心に聞いていました。



### ■新門司自動車物流センター、新門司フェリーターミナル

自動車物流センターには、大きな船舶が2隻入っていました。フェリーターミナルにも3隻のフェリーが揃って停泊しており、間近で見る船はとても大きく迫力がありました。



### ■旧福岡食糧事務所門司政府倉庫

バス内のTVでNHKドラマ“とんび”を見た後、すぐに建物を見学したため、そのドラマの雰囲気を実感することができました。



### ■海峡ドラマシッブ

展望室から、関門海峡の様子や来年度にオープンする旧大連航路上屋の様子を見学しました。





## 第2回 戸畑・若松まち歩き “港にある過去・港にある未来”

物や人が出入りする港には、それによって多くの歴史が刻まれてきました。様々なものが、今も海を越えて、港から入ってきます。日本一の石炭の積出港として栄華を誇っていた地域の歴史などを、ガイドと歩きながら見学しました。今も市民の生活に欠かせない若戸渡船にも乗船しました。

実施日:10月31日(水曜日)13時00分～16時00分

対象:一般(年齢制限等はなし)

参加者:18人

### ■若戸渡船



戸畑渡場から若戸渡船に乗船、若松に向かいました。約3分の航海ですが、若戸大橋を間近に見ながらの船旅に、まち歩きへの期待は高まります。参加者の中には、「長く北九州市に住んでいるが初めて乗船した」という方も多数いらっしゃいました。

### ■若松南海岸通り散策

ガイドの説明を聞きながら、若松南海岸通りを散策しました。旧古河鉱業ビルでは、外観の説明を受けていたところ、館長がご好意で館内の説明もしてくださいました。



旧古河鉱業若松ビル(外観)



旧古河鉱業若松ビル(館内)



弁財天上陸場



旧ごんぞう小屋(外観)



旧ごんぞう小屋(内部)



敵島神社

### ■わかちく史料館、ニSSIPイオニア館

若松、戸畑を代表する2館を訪れ、それぞれ館内の専門ガイドに説明していただきました。



※わかちく史料館は館内撮影禁止のため、写真はいずれもニSSIPイオニア館。

## 第3回 船で航く“海のちからと海の道”

我が国と東南アジア諸港を結ぶ大動脈・船舶交通の要衝である関門海峡を、船舶で巡り、船舶の通る「道」である航路や信号、実際に船が着く様子などを、普段は見られない海からの視点で見学しました。また、海辺を活用した次世代エネルギーの実証研究施設も巡り、新しい環境の取り組みについても見学しました。

実施日:11月14日(水曜日)10時00分~13時00分

対象:一般(年齢制限等はありません)

参加人数:22人

### ■関門海峡らいぶ館

関門海峡に設置したライブカメラの映像や、操船シミュレーション画像などを見ながら、関門海峡の特徴や航路についての説明を伺いました。らいぶ館の外にはこれから船に乗る参加者のために、「ご安航を祈る」という意味の旗を掲げてくださっていました。



### ■ひびきコンテナターミナル



間近で海から見る荷役の様子に、皆さん身乗り出すように見学し、熱心に写真撮影をしていました。

岸壁に並ぶタイヤは工業用の大きなもので、3m以上の大きさがあります。

### ■若松湾口信号



### ■関門マーチス、導灯



いずれも、船舶が安全に航行するために必要な施設です。通常、陸からは見えない施設なので、解説を聞きながら見学することで、役割と重要性を知ることができました。

### ■潮流発電施設



### ■若戸大橋



### ■関門海峡（レトロ地区）





## 第4回 若松の二つの顔を巡る“次世代エネルギーと自然海岸”

風力発電産業の『総合拠点化』を目指し、関連企業の立地が進められている響灘地区では、エコタウン事業の推進とともに、風力発電施設や太陽光発電施設など、次世代エネルギー施設の集積も進められています。今回は、次世代エネルギー施設として「風力発電」「太陽光発電」の2つを中心に施設を見学しました。

また、若松区には企業進出の著しい埋立て地区とは対照的に美しい自然海岸も残されています。その雄大な景観も見学し、最先端の産業と自然海岸という「若松の二つの顔」を巡りました。

実施日:11月16日(金曜日)9時00分～16時00分

対象:一般(年齢制限等なし)

定員:29人

### ■若戸トンネル

平成24年9月15日に開通したばかりの若戸トンネルを通過して、若松区内に入りました。



### ■次世代エネルギーパーク（北九州エコタウンセンター）

エコタウンセンターでは、次世代エネルギーパークについての説明を受け、展示施設の見学を行いました。



### ■風力発電施設(㈱テラエナジーひびき、㈱エヌエスウインドパワーひびき、洋上風力発電(㈱電源開発))

市内3つの風力発電施設を見学しました。当日は天気がよく、㈱エヌエスウインドパワーひびきの風力発電施設のある響灘北緑地から、現在建設中の洋上風力発電施設が見えました(写真赤丸部分)。



## ■白島展示館

白島国家石油備蓄基地についての展示や、展望室からは響灘の雄大な眺めを楽しむことができました。



※白島展示館の展望室は、響灘北緑地の風力発電施設 10 基を写真におさめることのできる絶好のスポットです。

## ■J-POWER 電源開発(株) 若松総合事務所

太陽光発電等の次世代エネルギーに関する施設や、敷地内にある響灘菜園(株)(カゴメ(株)、電源開発(株)の共同出資)によるトマト栽培の様子を見学しました。



※太陽光パネルの性能実験。発電量を示す3つのランプ(赤丸部分)が、パネルを隠すようにすると2つ消えました。このパフォーマンスは、お客さんに大人気だそうです。

## ■遠見ヶ鼻、妙見埼灯台、千畳敷

天気が良かったこともあり、遠くまで見通せる美しい眺めが広がっていました。

